

目指す
ゴール
がある
って、
素敵
だ。

YAHIKO MOUNTAIN SKYLINE



新潟 ヒル・プログラム 大会記録集



Niigata Hill Climb

これまでのあゆみ

第1回大会 (2013年)

- ・新潟ヒルクライム初開催。
- ・弥彦山スカイライン間瀬口～弥彦山山頂駐車場 (5.3km)。
- ・地元岩室温泉街におけるパワーランチを新設。
- ・岩室温泉入浴券を配付。



第2回大会 (2014年)

- ・参加カテゴリーにシニアの部やタンデムを設置。



第3回大会 (2015年)

- ・スタート地点をいわむろや付近（樋曾交差点前）に変更し、コースを延長 (7.6km)。
- ・コース延長に伴い、参加費を引き上げた。
- ・チャンピオンカテゴリーを廃止。
- ・男性カテゴリーの年齢範囲を変更。



第4回大会 (2016年)

- ・車種の範囲を広げるため、フリーのカテゴリーを新設。



第5回大会 (2017年)

- ・中学生以上 (7.6km) と小学生 (5.3 km) のスタート位置を変更し、コース距離を分けた。
- ・小学生伴走のカテゴリーを新設。



第6回大会 (2018年)

- ・弥彦競輪場における1マイルTTを新設し、2日間の開催となった。
- ・2DAYSレース総合表彰及びヒルクライム、1マイルTT単独表彰を設定。



第7回大会 (2019年)

- ・大会初の冠スポンサーとして、新潟ケンベイ協賛による「新潟ケンベイ PRESENTS 2019新潟ヒルクライム」を開催。
- ・1マイルTTを開催した。
- ・新潟ケンベイのブース出展で、おにぎりの振る舞いあり。
- ・計測をグロスタイムからネットタイムへ変更。



第8回大会 (2020年)

- ・コロナ禍において新しい生活様式に沿った運営。
- ・3密回避のため、開閉会式や表彰式は未実施。
- ・カテゴリー混合30人パックでの時差スタート。下山は対面通行で個々に走行。



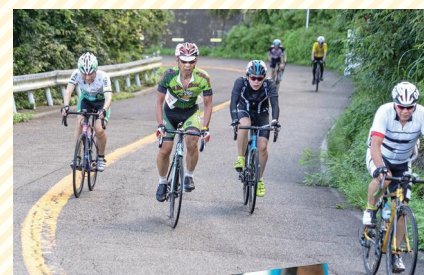
第9回大会 (2021年)

- ・中止
(新型コロナウイルス感染症)



第10回大会 (2022年)

- ・居住地制限なしで大会再開。
- ・開閉会式や表彰式は未実施。
- ・結果速報を専用HP上のみ掲載に変更。



第11回大会 (2023年)

- ・中学生と小学生のスタート位置を統一し、同距離 (7.6km) で開催。
- ・物価高騰等の影響により参加費を引き上げた。
- ・年齢カテゴリー別マスドスタートに戻して運営。



第12回大会 (2024年)

- ・1マイルTTを開催した。
- ・パワーランチや温泉入浴券をオプション形式とし、参加費を引き下げた。
- ・降雨により、閉会式と表彰式を中止した。
- ・ロゴマークを変更。



大会の概要

大会の思い出

1. 開催目的

自転車を有効に活用しながら市民の健康維持・増進を図るとともに、壮大な越後平野や日本海など風光明媚な新潟の魅力を再確認し、交流人口の拡大に寄与する。

2. 主催・協力

●主催：新潟ヒルクライム実行委員会

●協力 弥彦競輪／（公財）新潟市スポーツ協会／（公財）新潟市開発公社／岩室温泉観光協会／NPO法人いわむろや／弥彦観光索道株式会社／新潟県自転車競技連盟／新潟県サイクリング協会／新潟市サイクリング協会／新潟市スポーツ推進委員連盟

●後援 新潟日報社／朝日新聞新潟総局／毎日新聞新潟支局／読売新聞新潟支局／共同通信社新潟支局／時事通信社新潟支局／NHK 新潟放送局／BSN 新潟放送／NST 新潟総合テレビ／TeNY テレビ新潟／UX 新潟テレビ21／FM 新潟77.5／エフエム角田山ぽかぽかラジオ

3. 開催時期・会場

●開催月：毎年8月下旬～9月上旬

●会場：〈ヒルクライム〉新潟市岩室観光施設いわむろや付近など
〈1 マイルTT〉弥彦競輪場

4. 開催場所・コース概要

〈ヒルクライム〉

急勾配でありながら全国的には距離が短いコース特性から、男女問わず幅広い層のサイクリストが参加しやすいコース。主に市内・県内のサイクリストが約7割を占め、リピーターも多い大会。樋曾交差点付近路上～弥彦山スカイライン間瀬口～だいら坂～山頂付近

（コース総長：約7.6km 標高差：約520m 平均勾配：約5.5%）

（コース総長：約5.3km 標高差：約420m 平均勾配：約7.9%）※2013年及び2014年は弥彦スカイライン間瀬口付近スタート

〈1 マイルTT〉

弥彦競輪場が使用できる場合に数回実施。バンク内の走行は傾斜があるため、初心者には難しいが非日常感を体験できる。ホルダーによる静止スタートから弥彦競輪場4周回の個人タイムトライアル

5. 過去参加者数

●初回 2013年：263人 ●最多人数 2016年：505人

（第1回開催2013年の約263名から、2016年には500名を超える過去最多の505名の参加を記録した。2019年には約490名と過去最大規模で推移。その後、2020年以降はコロナ禍による中止や縮小を経て、近年は250～300名規模の開催となり、市内参加者数は減少傾向であったものの、市外からの参加割合は6割を超えていた。）

2013年～2014年 コース図



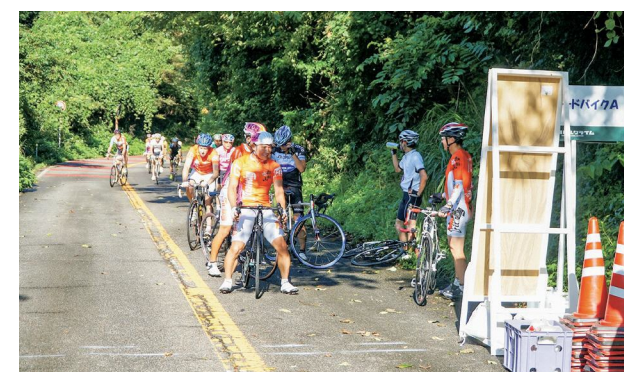
第1回大会（2013年）



初心者でも参加できるコース設定が良かった



第2回大会（2014年）



大会の思い出

2015年～2024年 コース図



第3回大会 (2015年)



第4回大会 (2016年)



山頂からの
景色や
日本海がキレイ



第5回大会 (2017年)



参加費が
安価で賞品が
良かった



第6回大会 (2018年)



大会の思い出

第7回大会 (2019年)



第8回大会 (2020年)



第10回大会 (2022年)



第11回大会 (2023年)



12回大会 (2024年)



2024 Niigata Hill Climb	新潟ヒルクライム NIIGATA HILL CLIMB 2024	池田看板	クサマ自転車	株式会社品川鐵工場	こぼりサイクル	TREK
クサマ自転車	Fin	SAGAMI RACING	さいくろびつとB&S	サカモト	こぼりサイクル	
池田看板	SAGAMI RACING	Sirius GYM	さいくろびつとB&S	TREK		
nichiniao	Fin	新潟県自転車協会	サカモト	新潟県自転車協会		

実績と記録

1 エントリー状況

開催年	エントリー者数 合計（定員）		市 内		県内市外		県 外		競技2日間参加※ （定員）		競技のみ （定員）		ファンライド （定員）	
2013	263	(500)	167	63.5%	74	28.1%	22	8.4%			263	(500)		
2014	330	(500)	190	57.6%	114	34.5%	26	7.9%			330	(500)		
2015	496	(500)	252	50.8%	180	36.3%	64	12.9%			496	(500)		
2016	505	(600)	237	46.9%	203	40.2%	65	12.9%			505	(600)		
2017	486	(600)	230	47.3%	185	38.1%	71	14.6%			486	(600)		
2018	437	(600)	197	45.1%	171	39.1%	69	15.8%	147	(600)	290	(600)		
2019	493	(630)	172	34.9%	137	27.8%	83	16.8%	120	(600)	373	(600)		
2020	436	(600)	140	32.1%	126	28.9%	170	39.0%			436	(600)		
2021 (中止)	350	(400)	165	47.1%	185	52.9%	0	0.0%			327	(350)	23	(50)
2022	292	(650)	111	38.0%	125	42.8%	56	19.2%	76	(200)	284	(400)	8	(50)
2023	239	(600)	87	36.4%	97	40.6%	55	23.0%			233	(550)	6	(50)
2024	250	(600)	80	32.0%	101	40.4%	69	27.6%	59	(150)	240	(400)	10	(50)

※競技2日間参加のうち、1日は1マイルTTを実施

2 おもてなし実績

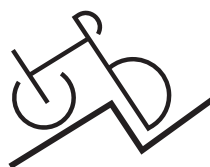
- ◇岩室温泉・情熱パワーランチ
- ◇岩室温泉入浴券
- ◇岩室温泉旅館組合女将部による歓迎挨拶・表彰プレゼンター
- ◇ゲストライダーに「鈴なり妖怪 木下友梨菜」選手の起用、じゃんけん大会
- ◇入賞賞品（日本酒、米、めで鯛ザー、岩室せんべいなどの詰め合わせ）
- ◇冠スポンサー（新潟ケンベイ）によるおにぎり振る舞い
- ◇地元キッズダンスチーム「いわねダンス部」アトラクション

3 歴代記録

ヒルクライム（5.3km）			
大会記録 田崎 友康 16分12秒（2013）			
カテゴリー	記 録	カテゴリー	記 録
チャンピオン（区分なし）	16分12秒（2013）	女性MTB（高校生以上）	62分30秒（2013）
男 性（高校生～45歳）	17分57秒（2014）	男子中学生	20分32秒（2014）
男 性（46歳～59歳）	19分33秒（2014）	小学生（４～６年生）	24分07秒（2014）
男 性（60歳～）	24分04秒（2014）	小学生（１～３年生）	27分15秒（2020）
女 性（中学生以上）	23分25秒（2014）	タンデム	27分15秒（2014）
男性MTB（高校生以上）	20分41秒（2014）		
最年少 8歳、最年長 73歳			

ヒルクライム（7.6km）			
大会記録 中川 真也 21分50秒（2022）			
カテゴリー	優 勝 者	居 住 地	記 録
男 性（高校生～29歳）	橋 本 友 哉	新潟県上越市	22分53秒（2022）
男 性（高校生～39歳）	平 岩 明	新潟県新潟市	23分30秒（2016）
男 性（30～39歳）	宮 城 嗣 秀	埼 玉 県	22分16秒（2019）
男 性（40～49歳）	中 川 真 也	石 川 県	21分50秒（2022）
男 性（40～59歳）	佐 藤 忍	新潟県魚沼市	23分32秒（2016）
男 性（50～59歳）	佐 藤 純	新潟県新潟市	24分37秒（2020）
男 性（60歳以上）	村 山 利 男	神 奈 川 県	25分53秒（2020）
男 性（中学生）	阿 部 賢 明	新潟県長岡市	25分22秒（2017）
女 性（中学生～39歳）	水 谷 彩 奈	新潟県長岡市	28分22秒（2019）
女 性（40歳以上）	栗 原 裕美子	群 馬 県	27分56秒（2023）
小学生（４～６年生）	植 松 大 晃	群 馬 県	30分19秒（2023）
小学生（１～３年生）	長谷川 想 祐	新潟県長岡市	45分13秒（2024）
フリー	海 口 秀 幸	新潟県新潟市	26分54秒（2016）
最年少 6歳、最年長 81歳			

1 マイルTT			
大会記録 上野 颯斗 1分51秒（2019）			
カテゴリー	優 勝 者	居 住 地	記 録
男 性（高校生～29歳）	上 野 颯 斗	新潟県新潟市	1分51秒（2019）
男 性（30～39歳）	早 福 進	東 京 都	1分59秒（2024）
男 性（40～49歳）	中 川 真 也	石 川 県	1分58秒（2022）
男 性（50～59歳）	山 口 良 彰	群 馬 県	1分58秒（2024）
男 性（60歳以上）	川 岸 弘 昌	富 山 県	2分09秒（2019）
男 性（中学生）	大 出 匠	群 馬 県	2分12秒（2019）
女 性（中学生～39歳）	水 谷 彩 奈	新潟県長岡市	2分09秒（2022）
女 性（40歳以上）	佐々木 裕 美	新潟県新発田市	2分27秒（2024）
小学生（４～６年生）	天 野 昇 穂	新潟県新潟市	2分41秒（2019）
小学生（１～３年生）	長谷川 想 祐	新潟県長岡市	2分58秒（2024）
フリー	田 中 強	新潟県新潟市	2分10秒（2022）



Niigata Hill Climb

新潟ヒルクライム実行委員会